

会の概要

- 会員/多発性硬化症の患者とその家族
- 会費/患者家族会員……2,000円
賛助会員……1,000円

主な活動内容

- 定期総会/年一回(春)
- 交流会/年一回(秋のつどい)
- 通信発行/年四回(虹の会だより)
- 医療相談
- 福祉相談
- 宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)との連携
- 多発性硬化症について
人々の理解を得る
 - 病気の原因究明について
 - 治療法の早期確立について
 - 社会復帰の対策について

監修

- 東北大学医学部附属病院
神経内科 藤原 一男
三須 建郎
- 広南病院
神経内科 佐藤 滋

MS虹の会 事務局

〒984-0037

宮城県仙台市若林区蒲町38-10

(三浦方)

TEL.022-285-1687

宮城県患者・家族団体連絡協議会内

加盟団体

MS虹の会

宮城県難病相談支援センター

〒980-0801

仙台市青葉区木町通一丁目4番15号

仙台市交通局本庁舎4階

TEL 022-212-3351

TEL.FAX 022-211-1781

多発性硬化症友の会

ご案内



生きること まだまだ
愉し 友と会う 園

多発性硬化症(MS)虹の会



多発性硬化症って何？

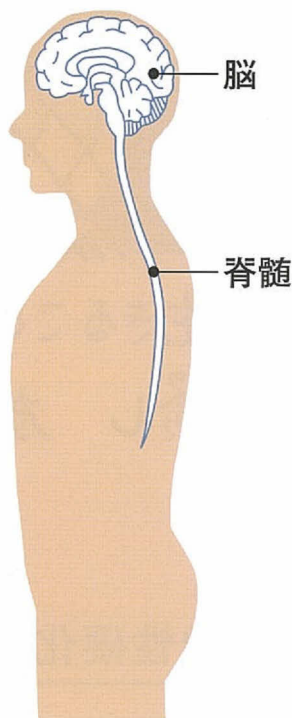
現在のところ多発性硬化症(MS)の発症原因は解明されていません。ただし、自分の免疫反応が自分自身の体を攻撃してしまう「自己免疫疾患」である可能性が高いと考えられています。

つまりからだの中に侵入したウイルスや病原菌などの異物を発見したときに自分自身を守ろうとする免疫反応が、何らかの異常で自分自身の体を攻撃してしまうのです。

MSの場合には、脳や脊髄などの中枢神経が攻撃されます。

治療法は各種薬剤による炎症の沈静化や浮腫の改善、免疫の抑制が中心になります。

しかし、その目的はその時々MSの状態によって急性期の短縮、再発防止、進行の抑制、症状の緩和と異なってきます。



MSとは

Multiple…「あちこち」「いくつも」、
Sclerosis…「硬い」の略語です。

特徴として、

日本人の患者の90%が、

同じ症状が繰り返すおこる

「再発」と症状の回復、

治療により治まる「寛解型」と

報告されております。

主な症状は？

視力障害、運動麻痺、
感覚障害、排尿障害などで、
障害される部位によって
現れる症状は様々です。

会の目的は・・・

患者ひとりで悩んだり、
孤立せずに、互いに助け合い、
支え合い、励まし合う
ピアサポートを大切にしています。

会の成り立ち・・・

昭和59年6月に
会員11名で発足しました。
現在は50名の会員です。

会の活動は・・・

定期総会や秋のつどいでは、東北大学病院、広南病院等の先生から最新医療情報を伺い、医療相談を受け、会員とその家族の交流と親睦を深めています。宮城県難病相談支援センターのピアカウンセリングにも協力しております。